

# 第75期中間報告書

平成21年4月1日～平成21年9月30日

## 株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。  
第75期第2四半期連結累計期間のご報告を申し上げます。

### ■営業の概況

当第2四半期連結累計期間の世界経済は、アジアを中心として持ち直しの動きが広がりつつあるものの、金融問題が長引く欧米などで不透明な状況が続いています。

国内経済においては、企業収益の悪化により設備投資が減少していますが、景気対策による公共投資の増加や輸出の増加などがあり、経済状況は持ち直しつつあります。

風水力機械業界においては、厳しい経済環境や円高の影響などから需要が減少している状況が継続しています。

このような環境下で、当社グループは積極的な営業活動を展開しましたが、当第2四半期連結累計期間における受注総額は55億93百万円（前年同期比28.8%減）となりました。

### ■業績の概要

#### ◇損益

当第2四半期連結累計期間の損益面につきましては、売上高は51億1百万円（前年同期比0.7%増）、営業損失4億61百万円（前年同期は5億32百万円の損失）、経常損失4億4百万円（前年同期は4億86百万円の損失）、四半期純損失は2億78百万円（前年同期は2億76百万円の損失）となりました。

なお、当社グループの売上高計上は、公共事業物件の割合が高いため連結会計年度末に集中する季節性を有しております。

当社グループの通期の業績予想に関しては、売上高は263億円となる見込みです。また利益面につきましては、原価低減を一層進め営業利益が14億90百万円、経常利益が13億40百万円、当期純利益が6億40百万円となる見込みです。

#### ◇配当

中間配当につきましては、1株につき20円とさせていただきます。通期では、1株につき50円（うち期末配当金30円）を予定しております。

### ■今後に向けて

今後の世界景気は、雇用情勢等、一部で厳しい状況が続くことが予想されるものの、全体としては緩やかな持ち直しに向かうことが想定されるため、海外戦略をはじめとして積極的な経営を推進いたします。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成21年12月

代表取締役社長 柳瀬宜浩

## トピックス

### 製缶工場増設・改修

石油開発・化学、発電、海水淡水化等の各種海外プラント向けの堅調なポンプ、送風機需要が継続しています。なかでも鋼板製ポンプ、送風機の需要に対応するため、高効率生産の実現を目指した製缶工場の増設・改修に着手し、平成21年3月末に竣工しました。

増設面積は約570㎡で、改修された既存部分とあわせ、延べ床面積約1,900㎡としました。

増設・改修にあたっては当社の特徴である多品種少量生産への対応を考慮し、材料ストックヤード及び部品別作業ヤードを区分けしたレイアウトにすることで、材料から製缶品完成までの流れがスムーズになり、最新設備の導入と相俟って作業効率を大幅に改善することができました。また耐食性に優れたステンレス系特殊材料と普通材それぞれの生産ラインを区分けすることで、品質の向上も図っています。



◇製缶工場内観

### サウジアラビア向け 火力発電・海水淡水化設備用各種大型ポンプ及び送風機納入

三菱重工業株式会社殿経由で、サウジアラビアの配電・給水事業を行う特別目的会社シュケイク水・電力会社（Shuqaiq Water and Electricity Company）に、火力発電・海水淡水化設備用として17台のポンプと12台の送風機を製作・納入しました。

#### [ポンプ]

火力発電設備（総出力102万kW）に設置されるポンプは2,600mmの大口径であり、オールステンレスポンプとしては当社実績において最大です。

一方、発電時の熱を有効利用する海水淡水化設備（1日当たり212,000㎡の飲料水を供給）に設置されるポンプには高級耐食材料である二相ステンレスが採用され、同材質を使用したものとしては当社実績において最大となる大口径1,800mmのポンプです。

#### [送風機]

火力発電設備に設置される送風機は、ボイラ内への燃焼用空気供給を行なう送風機とボイラ内蒸気の温度調整を行なう送風機があります。後者の送風機については耐熱性や耐磨耗性が求められるため、羽根車には高張力鋼を使用し、硬化肉盛などの高度な溶接技術が施されています。



◇ポンプ（工場）据付状況外観

## 製品別営業の概況

### ポンプ

民需の石油精製向けが増加しましたが、電力向けと海外向けが大幅に減少したことに加え、官需の下水道向けも減少しましたので、受注高は40億85百万円（前年同期比20.6%減）となりました。



ポンプ  
石油精製所向け  
原油移送ポンプ

### バルブ

官需の上水道向けと農業向けが増加しましたので、受注高は1億79百万円（前年同期比83.3%増）となりました。



バルブ  
ダム放流用  
ハウエルバンガーバルブ

### 送風機

民需の海外向けと官需の下水道向けが減少しましたので、受注高は8億65百万円（前年同期比46.3%減）となりました。



送風機  
石油精製所向け（硫黄回収設備用）  
エアブロウ

### その他

官需の下水道向けが減少しましたので、受注高は4億63百万円（前年同期比53.8%減）となりました。



その他  
原油移送ポンプ用  
速度制御装置及び監視盤

# 連結財務諸表

## ● 四半期連結貸借対照表

(平成21年9月30日現在)

(単位：百万円)

科目	金額	科目	金額
<b>(資産の部)</b>		<b>(負債の部)</b>	
流動資産	18,112	流動負債	11,421
現金及び預金	1,670	支払手形及び買掛金	4,981
受取手形及び売掛金	5,357	未払法人税等	34
有価証券	1,406	前受金	5,089
仕掛品	8,349	受注損失引当金	227
原材料及び貯蔵品	134	製品保証引当金	87
その他	1,193	役員賞与引当金	28
貸倒引当金	△0	その他	971
固定資産	7,788	固定負債	1,292
有形固定資産	3,589	退職給付引当金	1,059
建物及び構築物	2,114	役員退職慰労引当金	12
その他	1,474	その他	221
無形固定資産	162	負債合計	12,714
投資その他の資産	4,036	<b>(純資産の部)</b>	
投資有価証券	2,490	株主資本	12,901
その他	1,597	資本金	810
貸倒引当金	△51	資本剰余金	111
資産合計	25,900	利益剰余金	12,182
		自己株式	△202
		評価・換算差額等	284
		その他有価証券評価差額金	213
		繰延ヘッジ損益	70
		少数株主持分	0
		純資産合計	13,186
		負債純資産合計	25,900

(注) 記載金額は百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

## ● 四半期連結損益計算書

(平成21年4月1日から平成21年9月30日まで)

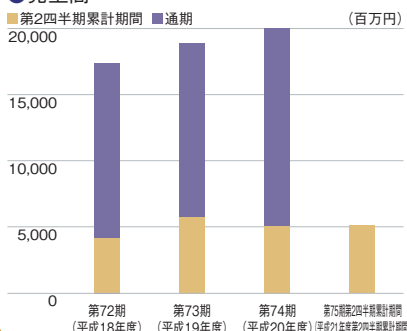
(単位：百万円)

科目	金額
売上高	5,101
売上原価	3,881
売上総利益	1,220
販売費及び一般管理費	1,681
営業損失	461
営業外収益	97
受取利息	13
受取配当金	24
受取賃貸料	34
その他	25
営業外費用	41
支払利息	0
投資有価証券評価損	31
その他	9
経常損失	404
税金等調整前四半期純損失	404
法人税、住民税及び事業税	4
法人税等調整額	△130
少数株主損失	△0
四半期純損失	278

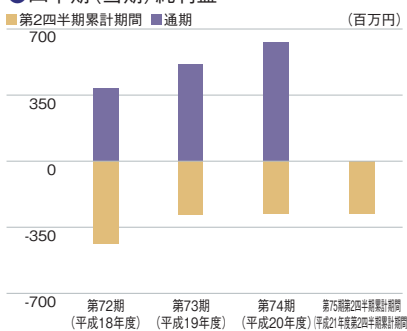
(注) 記載金額は百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

## 財務ハイライト (連結)

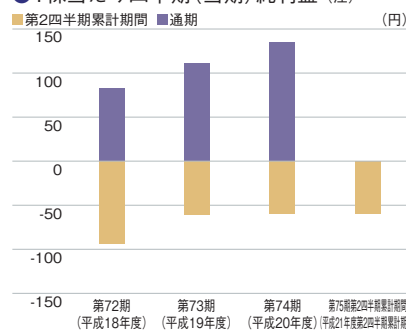
### ● 売上高



### ● 四半期(当期)純利益



### ● 1株当たり四半期(当期)純利益 (注)



(注) 第72期(平成18年度)の1株当たり情報は、平成19年11月1日付で行なわれた1:3の株式分割が反映され、調整されております。

# 株式の状況

(平成21年9月30日現在)

■発行可能株式総数	19,107,600株
■発行済株式の総数	4,776,900株
■株主数	2,490名

## ●大株主

株主名	持株数 (百株)	出資比率 (%)
株式会社GM INVESTMENTS	5,069	10.90
株式会社三菱東京UFJ銀行	2,090	4.49
三井住友海上火災保険株式会社	2,025	4.35
明治安田生命保険相互会社	1,758	3.78
電業社取引先持株会	1,512	3.25
株式会社鶴見製作所	1,304	2.80
株式会社明電舎	1,275	2.74
財団法人生産技術研究奨励会	1,200	2.58
住友生命保険相互会社	1,176	2.53
日本生命保険相互会社	1,050	2.25

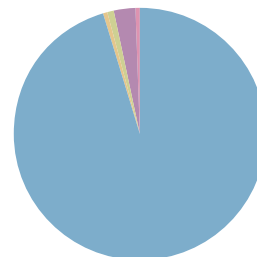
(注) 1. 当社は自己株式(1,217百株)を所有しておりますが、上記大株主から除いております。

2. 出資比率は発行済株式の総数から自己株式を控除して計算しております。

## ●株主構成

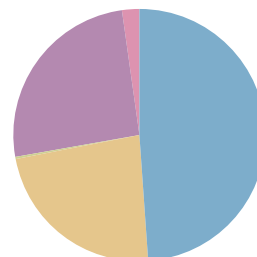
### 所有者別株主比率

■個人・その他	2,378名	95.50%
■金融機関	13名	0.52%
■証券会社	17名	0.68%
■その他の国内法人	69名	2.77%
■外国法人等	12名	0.48%



### 所有者別持株比率

■個人・その他	22,793百株	47.72%
■金融機関	10,769百株	22.55%
■証券会社	136百株	0.28%
■その他の国内法人	11,827百株	24.76%
■外国法人等	1,025百株	2.15%



# 会社の概況

(平成21年9月30日現在)

## ●会社の概要

- 商号 株式会社 電業社機械製作所  
(DMW CORPORATION)
- 所在地 東京都大田区大森北一丁目5番1号  
〒143-8558 TEL 03 (3298) 5115
- 資本金 810,000千円
- グループ従業員数 644名 (うち契約社員89名、臨時社員31名)

## ●主な製品内容

機種	製品名
ポンプ	渦巻ポンプ、斜流ポンプ、軸流ポンプ、水中モータポンプ、その他各種ポンプ
送風機	ターボファン、翼形ファン、ラジアルファン、軸流ファン、ターボブロワ、その他各種送風機
バルブ	ロートバルブ、ハウエルバンガーバルブ、その他各種バルブ
その他	配電盤、電気計装制御装置、電気通信制御装置、曝気循環装置、除塵機、回転円板装置等

## ●取締役、執行役員及び監査役

代表取締役会長	渡邊昌信
代表取締役社長 最高執行役員社長	柳瀬宜浩
取締役 専務執行役員	土屋忠博
取締役 上席常務執行役員	杉谷恒也
取締役 常務執行役員	山本昇
上席執行役員	市川雅
執行役員	松本秀璽
執行役員	樋口道夫
執行役員	浅見幸男
執行役員	山本俊明
執行役員	戸泉勝喜
執行役員	杉山幸一
常勤監査役	山崎和弘
常勤監査役	岡田洽史
監査役	北村康男
監査役	松村俊夫

## 株主メモ

- 事業年度 ■ 4月1日～翌年3月31日  
期末配当金受領株主確定日 ■ 3月31日  
中間配当金受領株主確定日 ■ 9月30日  
定時株主総会 ■ 毎年6月  
株主名簿管理人 ■ 三菱UFJ信託銀行株式会社  
特別口座の口座管理機関  
同連絡先 ■ 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号  
Tel. 0120-232-711 (通話料無料)
- 上場証券取引所 ■ 東京証券取引所  
公告の方法 ■ 電子公告により行う  
公告掲載URL <http://www.dmw.co.jp/>  
(ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

1. 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

## ホームページのご案内



当社ホームページ ▶ <http://www.dmw.co.jp/>



株式会社 電業社機械製作所

〒143-8558 東京都大田区大森北一丁目5番1号  
TEL (03) 3298-5115 (代表)

